

## にわたりの飼い方



### にわたりのからだ

- ・ とさか(鶏冠) : オスには大きな、メスには小さな鶏冠があります。  
触ると暖かいです。
- ・ くちばし(嘴) : 地面を掘ってえさを探すのに便利な形です。鶏は、黒い点をつつく習性があるので、目をつつかれないように注意してください。
- ・ 筋胃 : 小石を食べ、厚い筋肉でできた胃の中で小石が餌をすりつぶします。
- ・ 足 : オスには敵と戦うためのけづめがあります。
- ・ 糞と尿 : 総排泄口から同時に出ます。卵も総排泄口から産まれます。

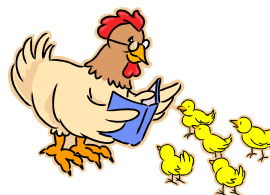
ちゃぼは、愛玩用のにわとりです。小型で、おとなしく、よく馴れます。抱くことも出来ます。

|     |   |
|-----|---|
| 体重  | 種類によって異なりますが、オス 2,5~3,2 kg メス]1,7~2kg くらい、<br>オスのほうが大きい ちゃぼ は 700 g くらい |
| 寿命  | 10~15 年   |
| 体温  | 40℃~42℃ 翼の下に手を入れると暖かさを実感できる   |
| 心拍数 | 1 分間に 220~360 回   |
| 呼吸数 | 1 分間に 12~37 回   |



### にわたりの食べ物

- ・ 市販のニワトリ用配合飼料 (ヒヨコにはヒヨコの餌、2 ヶ月くらいのヒナには中ヒナ用、卵を産んでいるにわとりには採卵鶏用の餌等) を成鶏には、一日二回、一回 30 分くらいで食べきる量を与えます。
- ・ 細かく切った青菜を混ぜてやると良いでしょう。
- ・ 水は、毎日容器をよく洗って取り替えます。





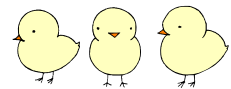
## にわたりの住まい

- ・夏涼しく、冬は隙間風が入らないようにしてください。
- ・野鳥の侵入を防ぐため、網目は細かいものが良いでしょう
- ・鶏がにぎれる太さの止まり木が必要です。
- ・産卵させるなら、巣箱を入れてあげると良いでしょう。

1家族(オス1羽に対して雌2,3羽)を一部屋で生活させるのが理想です。オスが多くいると、メスを取り合っけてケンカをしたり、群れから離れた孤独感から、人の子供を追いかけて暴れん坊になることがあります。



## にわたりの繁殖



- ・ヒヨコは孵化後4ヶ月で成鶏となり産卵を始めます。
- ・成鶏が卵の上に座り始めたら卵を温めていると考えて良いでしょう。約3週間で孵化します。
- ・孵化後2日たつと、雌鶏といっしょに巣から出て餌を食べ始めます。このとき、ヒヨコ用の餌が必要になります。
- ・孵化させる際には、ヒヨコの引き取り手を探してから孵化させましょう。また、飼育舎の動物が増えすぎないように、産まれた卵は、その日のうちに自然の恵みとして子供たちに持ち帰らせ、新鮮なうちに食べる取り組みも大切かと思います。(その際は、加熱して食べるように指導してください)



## にわたりの病気

- ・餌を食べなくなり元気がない。 ・全身の羽毛を逆立てている。
- ・止まり木に止まったままにいる。
- ・羽毛がひどく抜ける。
- ・とさかの色が薄くなったり、黄色身を帯びていたり、いつもと違う色をしている。
- ・糞排泄口が汚れている。
- ・尿、便の色、硬さがいつもと違う。

などは、病気の可能性があります。

元気がなくて心配なときは静かで暖かい場所に分けてやり、獣医師にご相談ください。

